

全国トレードフェア (NTF) に参加して

メルチ・ウヤサン/COWHED 組合長

3月14日から5日間、マニラで、国際貿易見本市センター/CITEM 主催、通産省(DTI)後援のNTFが開催され、COWHEDも昨年に続き2度目の出店をしました。これはフィリピンで最も権威ある産業博覧会です。



期間中のCOWHEDの総売上は40,475ペソ、そのほかに8,270ペソ分の注文を受けました。展示スペースも設けられていて、そこにビーズで縁取りしたボレロ

(写真)と新作のバッグを置きました。うち5点は、その後参加した別のフェアで売れました。

先日、CITEM経由でDTIから刺繍とビーズの縁取りがあるコートの見本がほしいという依頼がありました。8月のASEAN閣僚会議に出席するフィリピン政府代表団からの要望でした。確かにNTF会場では政府関係者がCOWHED店舗に立ち寄り、製品を手にとってくれました。

今回のNTF参加で最も嬉しかったのは、先住民のハンディクラフトを扱う団体としてCOWHEDがABS-CBNテレビに出演できたことです。インタビューでは、ハンディクラフトの紹介だけでなく、エコツーリズムの町レイクセブ町の宣伝もできました。

一緒に参加したメンバー2人にも良い勉強になりました。他の地域から出展しているブースを見て、その素材がレイクセブにもあるものと分かり、今後の製品作りに生かせるからです。

会場ではティナラク織りに関する質問がたくさんあったほか、一ヶ月に生産できる量などCOWHEDの供給体制の質問も受けました。ティナラク販路拡大の手ごたえを感じました。早々に、需要に応える生産体制の検討を始めたいと思います。

マニラでCOWHED製品の販売を委託できるパートナーに出会いましたが、正式契約前に適正な価格設定の勉強をする必要があります。ちょうど4月26、27日にG.サントスでその研修があるので参加する予定です。(文責:山崎)

COWHEDが、マニラ他国内の販路を拡大し、よいパートナーを得て海外市場も開拓できるように、昨年に続いて、メルチ組合長他2名のNTF参加経費(マニラ往復航空運賃など)を支援しました。(事務局)

2006年度ノーベル平和賞受賞者

グラミン銀行総裁ユヌス氏にお会いしました!

昨年11月にノーベル平和賞を受賞したムハマド・ユヌス氏のことはみなさんご存知だと思います。貧しいバングラデシュの女性たちに無担保でお金を貸し(=マイクロクレジット)、起業を助け、その返済率は98%! (2007年3月のデータ)

この春休み、バングラデシュの首都ダッカにてユヌス氏にインタビューする機会を得ました。

グラミン銀行の活動は、村の女性に5人グループを作ってもらい、グループメンバーに資金を貸すスタイルから、個人への貸付や、より貧しい物乞いをして暮らす女性へ、ビジネストレーニングとともに貸し出すプログラムなどに革新し続けています。

ダッカの市場に行って驚いたのですが、買い物をしている女性を見つけ出すのはまれです。というのは男性は女性・子どもを養わなければならない、買い物に出かけるのも男性の仕事。同時に女性は家とその周囲の仕事だけすることを求められ、外出はままならない社会なのです。

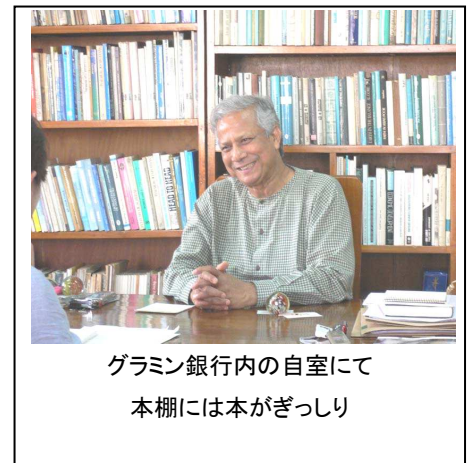
そのような状況から、女性自身が自分たちの力で経済的なパワーを身に付け自立することを支援するグラミン銀行とユヌス氏の活動は、確かにノーベル平和賞に値することを確信しました。

「あらゆる人間はだれでも巨大な創造力を内に秘めています。その力で国を発展させたり、環境をよくすることもできます。私たち人間はこの素晴らしい贈り物のふたを今すぐ開けて、より多くの力を世界中で発揮させるべきです」

という言葉を最後にいただきました。

おりしもHANDSのパートナー団体PFPは、マイクロクレジットを始めたい、については資金源を探している、ということ

です。フィリピン国内にもグラミン銀行を手本にして成功しているNGOがたくさんあります。それらから手法だけでなく「より貧しいひとびとのために」という哲学も学びながら、PFP自体の自立へとつなげていって欲しいと思います。(九島)



グラミン銀行内の自室にて
本棚には本がぎっしり